令和3年1月

関 係 各 位

全釧路剣道連盟
会長 藤原 節男

全釧路剣道連盟主催大会における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

全日本剣道連盟及び北海道剣道連盟のガイドラインを受け、本連盟においてもガイドラインを作成いたしました。今後は本ガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら大会を運営いたします。選手、保護者、審判員、大会役員等のすべての関係者が本ガイドラインを遵守し、安全な大会の実施にご協力をお願いいたします。

大会運営

〇開催市町村及び会場となる施設の方針に従う。
〇余裕を持った大会スケジュールとする。※大会によっては種目を削減する。
〇多くの人が触れる箇所を消毒する。
〇会場では常に換気を行う。
〇選手及び関係者に対し、本ガイドラインの周知徹底を図る。

事 前

〇選手及び大会役員以外（例えば保護者や見学者）の会場への入場を原則「なし」とする。ただし、小学生はチーム数や参加人数に応じて保護者の帯同を認める。※詳細は大会要項で示す。
〇帯同する保護者及び大会役員に、厚生労働省「接触確認アプリ」の利用（ダウンロード）を推奨する。

大会当日

〇当日朝に検温し、発熱等のカゼ症状がある選手及び帯同する保護者並びに大会役員は、参加しない。
〇入場や受付時はソーシャルディスタンスを保ちながら並ぶ。
〇選手及び帯同する保護者等は、別紙「大会参加同意および健康チェックシート」を提出する。
〇会場内での密集を避けるため、できるだけ剣道着と袴は自宅で着替える。
〇選手は試合中に面マスクとマウスガードを必ず着用する。試合中以外では家庭用マスク（面マスク可）を着用する。なお、アイガードは推奨として使用を任意とする。
〇選手及び帯同する保護者並びに大会役員は、手洗い・手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用を徹底する。なお、審判員も常時マスクを着用する。
〇選手の入場とアップを時間差で行う。
〇開閉会式は原則実施しない。※試合が終了した選手は帰宅する。
〇フロアに入ることができる選手及び帯同する保護者を制限する。
〇剣道具及び竹刀等の共用はしない。
〇常に会場の換気を行う。

○審判旗等の道具を共用する場合は手指消毒や除菌をしながら使用する。
○ゴミは全て持ち帰る。

大 会 後

○大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会事務局に連絡する。
○新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、厚生労働省「接触確認アプリ」をダウンロードしている方は速やかに陽性情報を登録する。

暫定的な試合・審判の方法

○新型コロナウイルス感染症が終息するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら大会要項に定める。
○試合時間の短縮を図るために、延長戦の区切り実施や休憩を取り入れるなどの方策を積極的に講じる。
○審判員は鍔競り合いになった場合は、直ちに「分かれ」を宣言する。
○審判員の試合場への入退場の際は、1メートル以上の間隔を空け、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
○合議は1 メートル以上の間隔を空けて行う。
○試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1 メートル以上の間隔を空ける。
○審判員は、大会本部が用意した審判旗を使用する場合は、アルコール消毒をして使用する。
○各試合会場の審判員控席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。